（様式３）

法人名と施設名の両方を記入する。

事 業 計 画 書

（補助事業者名：　法人名　＋　施設名　）

施設系サービスの事業者が見守りロボットを導入する場合の記載例です。事業所ごとに記載します。

補助事業名（区分）	介護ロボット導入支援事業
具体的な事業内容	介護ロボット導入後３年間の①達成すべき目標、②導入すべき機器、③期待される効果等 **① 達成すべき目標** **【現状】** ・転倒・転落リスクのある利用者が非常に多く、入所定員〇〇名に対し、常時、見守りが必要な利用者が〇〇名以上、常に入所している。 **Ａ介護職員等の人員体制について** 看護職員：日中〇人、夜間〇人 介護職員：日中〇人、夜間〇人 ※入浴支援、排泄支援などの機器については、さらに介助人数を記載すること **Ｂ利用者のケアについて** 昨年度の転倒・転落件数：月平均〇〇件 **Ｃ職員の負担軽減ついて** 職員の休憩時間：平均〇時間/８時間勤務 職員の残業時間：平均〇時間/月 夜間の巡回回数：合計〇〇回 特に見守りが必要な入所者〇名に対しての追加巡回〇〇回 【目標】 Ａ介護職員等の人員体制について 看護職員：日中〇人、夜間〇人（〇%の減） 介護職員：日中〇人、夜間〇人（〇%の減） Ｂ利用者のケアについて 転倒・転落件数（目標）：月平均〇〇件（〇%の減） （利用者のケアの質の維持・向上に資する取組を具体的に記載） ・（例）特に転倒リスクの高い入所者に対し、〇〇を実施している。 ・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 Ｃ職員の負担軽減について 職員の休憩時間：平均〇時間/８時間勤務（〇%の増） 職員の残業時間：平均〇時間/月（〇%の減） 夜間の巡回回数：合計〇〇回（〇%の減） 特に見守りが必要な入所者〇名に対しての追加巡回〇〇 （職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を具体 ・（例）残業時間が多い職員に対し、〇〇を実施してい ・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 ② 導入すべき機器 見守り機器□□ （機器の特徴等を記載し、「上記① 達成すべき目標」にどう役立つのかを記載する） ③ 期待される効果等 見守り機器□□を導入することで、人員体制を効率的に運用することができるようになり、介護職員の負担軽減が期待できる。また、介護職員の負担軽減に資する取組を積極的に実施することで離職率の向上につながる。 利用者のケアについては、見守り機器□□の導入により、入所者の睡眠の妨げとなるような不要な訪問を減らすことができるなど、これまで以上にきめ細かなケアを実施することができる。
事業の着手日（予定）	交付決定日以降
事業の完了日（予定）	令和6年3月31日

事業所で行っている取組み又はこれから行う取組みについてそれぞれ記載してください。（補助率3/4の要件となるため必ず記載すること）